

2007年11月
第16回ARI
茨城競技大会

‘07茨城大会 (3.5MHz)での私の判断と行動

2007年11月23日(金)
於 茨城県北山公園

安島 巧

主要道路
河川
境界
地籍
地番
地号
地目
地種
地質
地層
地温
地熱
地電
地磁
地圧
地力
地質
地層
地温
地熱
地電
地磁
地圧
地力

初めに

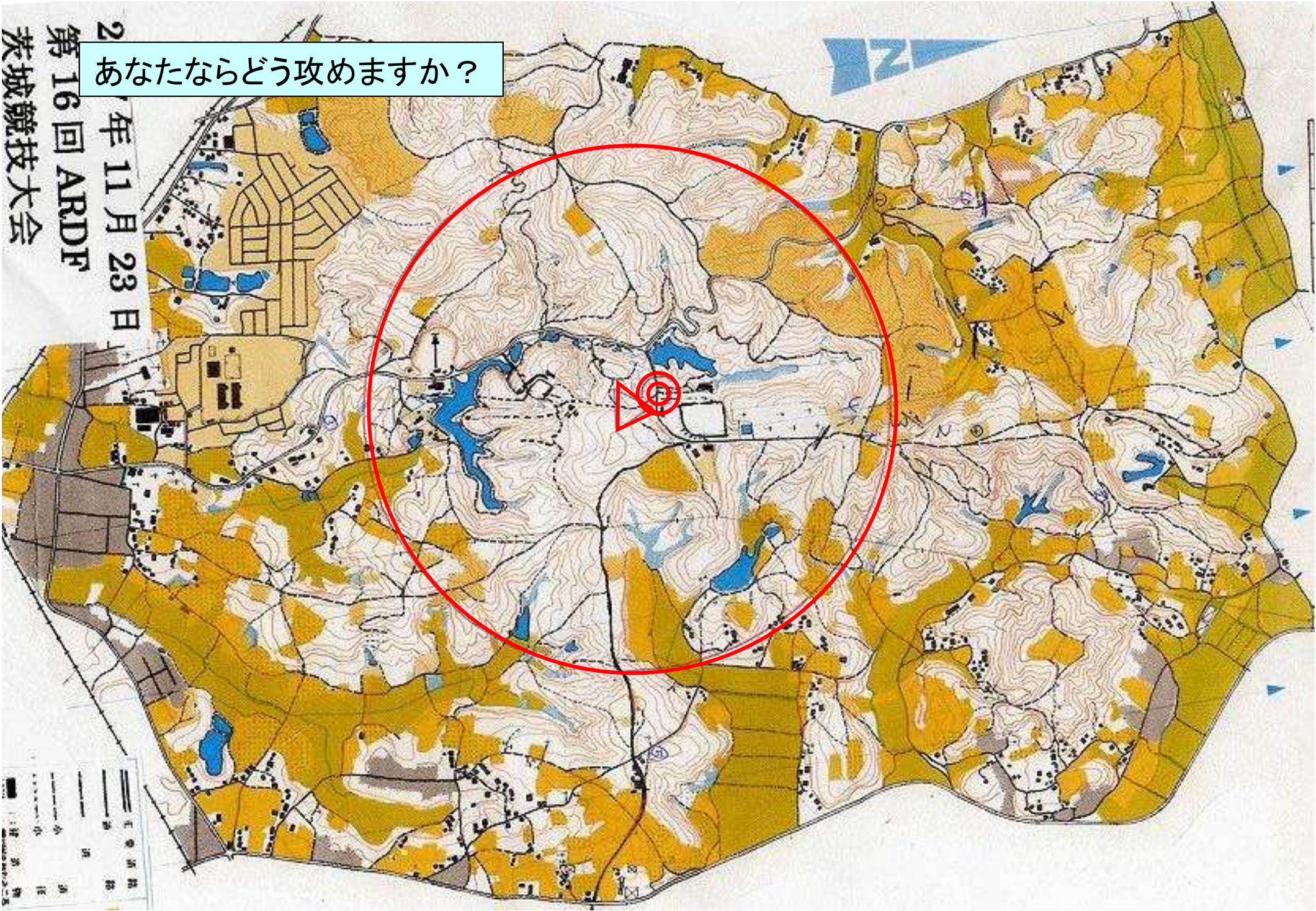
このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

2017年11月23日
第16回 ARDF
茨城競技大会

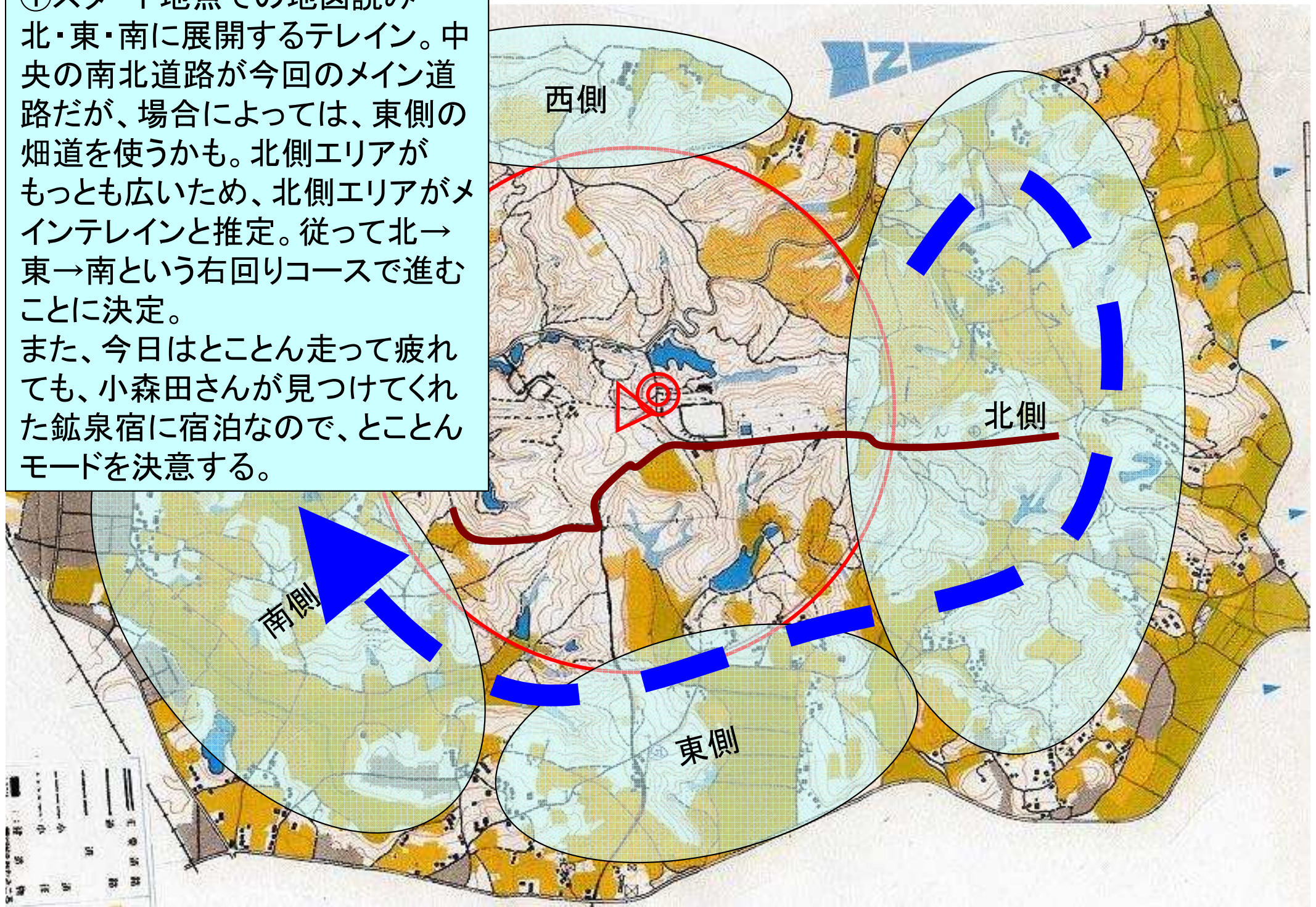
あなたならどう攻めますか？



①スタート地点での地図読み

北・東・南に展開するトレイン。中央の南北道路が今回のメイン道路だが、場合によっては、東側の畑道を使うかも。北側エリアがもっとも広いため、北側エリアがメイントレインと推定。従って北→東→南という右回りコースで進むことに決定。

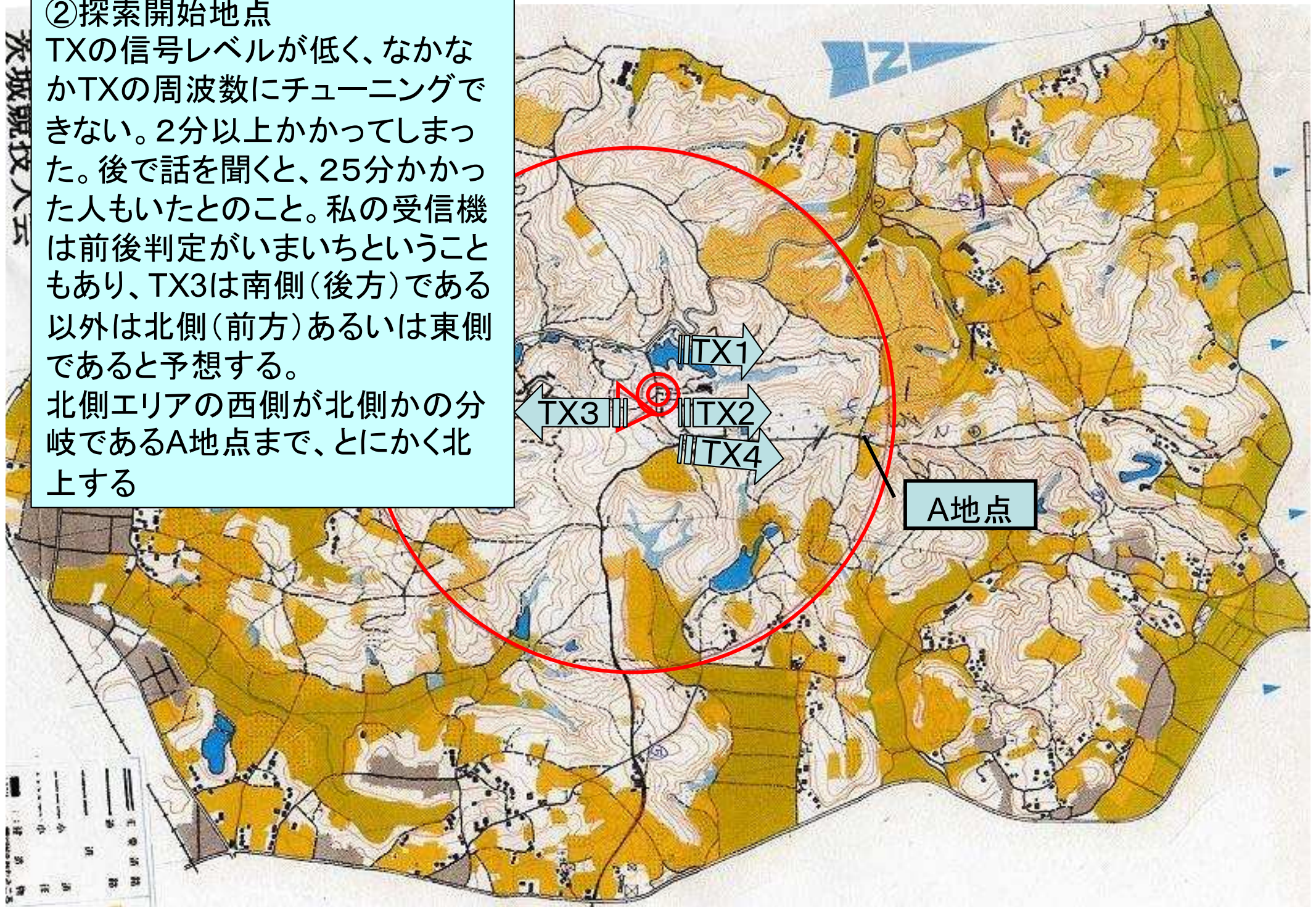
また、今日はとことん走って疲れても、小森田さんが見つけてくれた鉱泉宿に宿泊なので、とことんモードを決意する。



②探索開始地点

TXの信号レベルが低く、なかなかTXの周波数にチューニングできない。2分以上かかってしまった。後で話を聞くと、25分かかった人もいたとのこと。私の受信機は前後判定がいきなりということもあり、TX3は南側(後方)である以外は北側(前方)あるいは東側であると予想する。

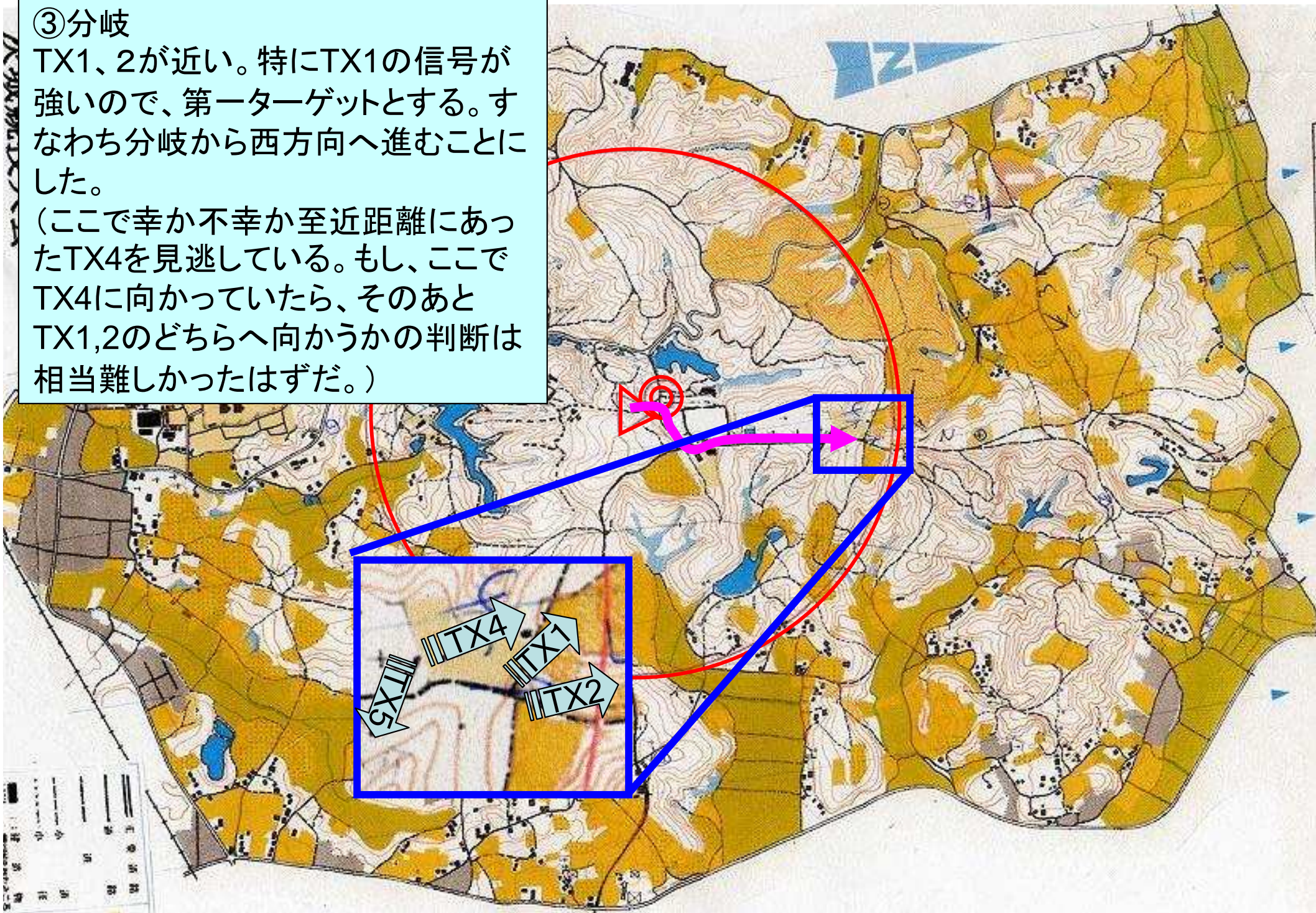
北側エリアの西側が北側かの分岐であるA地点まで、とにかく北上する



③分岐

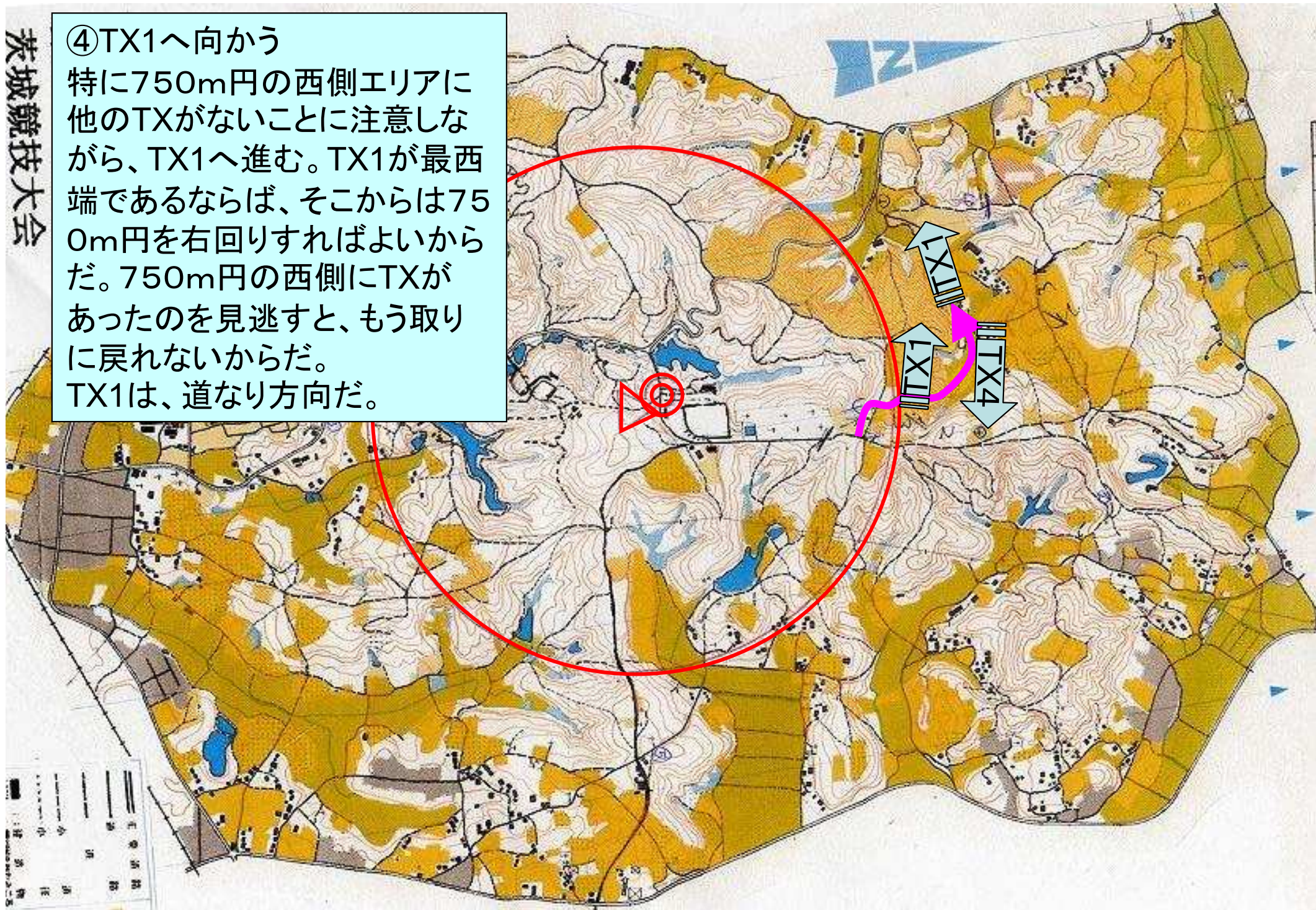
TX1、2が近い。特にTX1の信号が強いので、第一ターゲットとする。すなわち分岐から西方向へ進むことにした。

(ここで幸か不幸か至近距離にあったTX4を見逃している。もし、ここでTX4に向かっていたら、そのあとTX1,2のどちらへ向かうかの判断は相当難しかったはずだ。)



④TX1へ向かう

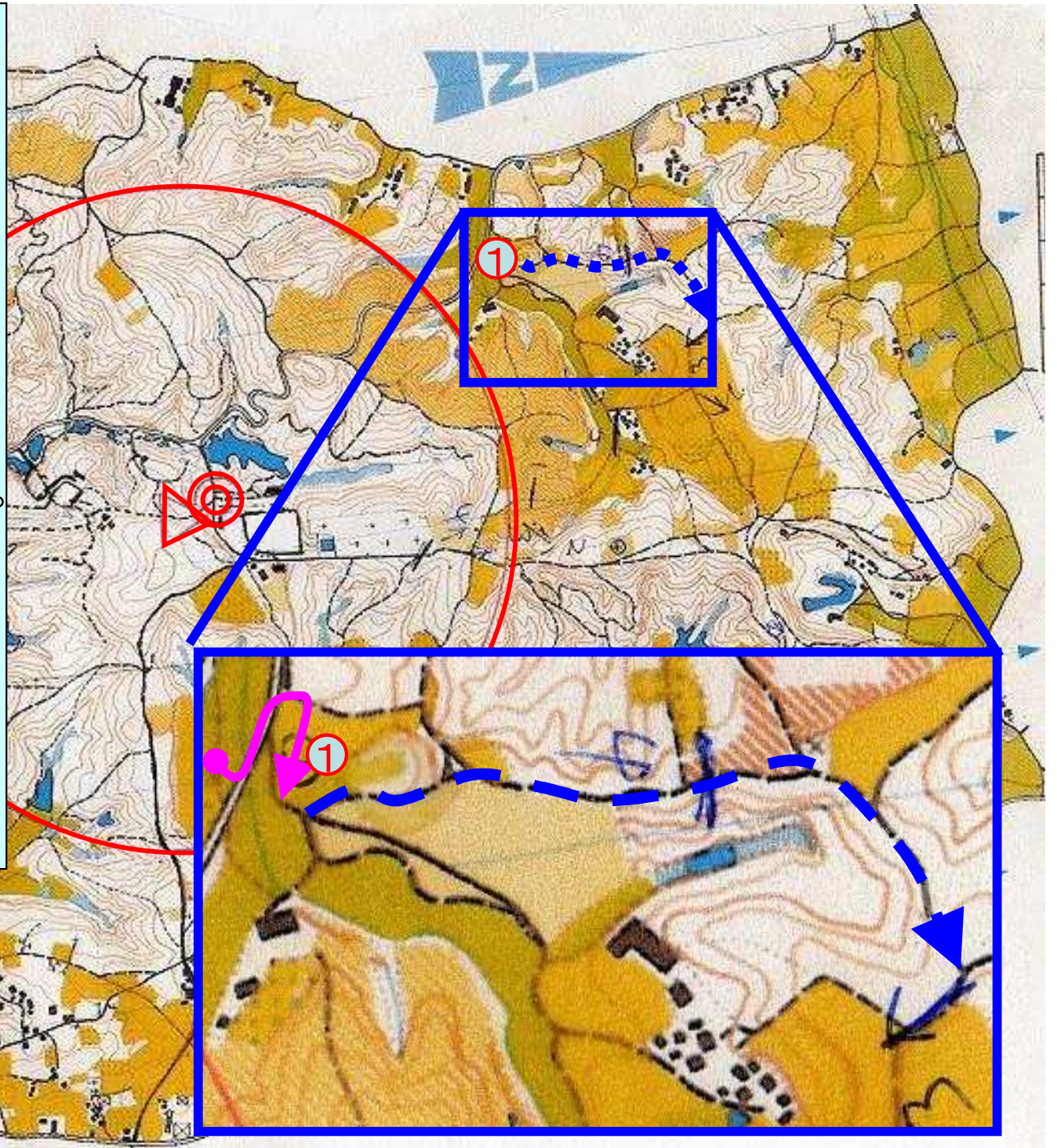
特に750m円の西側エリアに他のTXがないことに注意しながら、TX1へ進む。TX1が最西端であるならば、そこからは750m円を右回りすればよいからだ。750m円の西側にTXがあったのを見逃すと、もう取りに戻れないからだ。TX1は、道なり方向だ。



⑤TX1

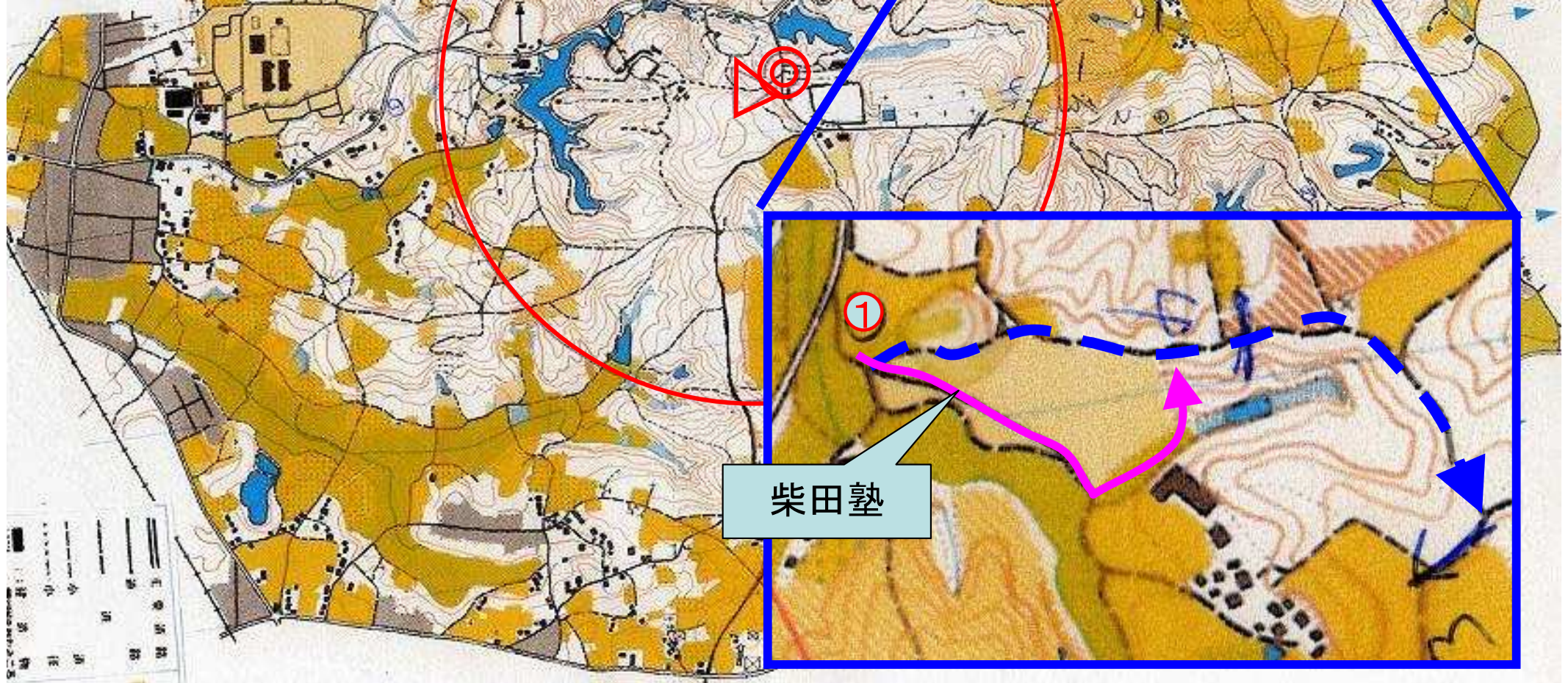
交差点脇に空き地(要するに電線から離れて、かつ近くに障害物がない場所)があり、そこでTX1をまつ。

鳴いた。崖の上だ。回り込んで崖の上に上ると、目視でゲット。意外と至近距離。受信機のATTは最大感度のまま。受信機の感度が下がっているようだ。さあ、次のTXへ急ごう。その勢いで崖から降りるときに一回転。いたたた。でもRXは手から離さず、セーフ。次のTXの位置はよくわからない。TX1の北方向にある可能性も考えて、青点線のルートを考える。



⑥柴田塾

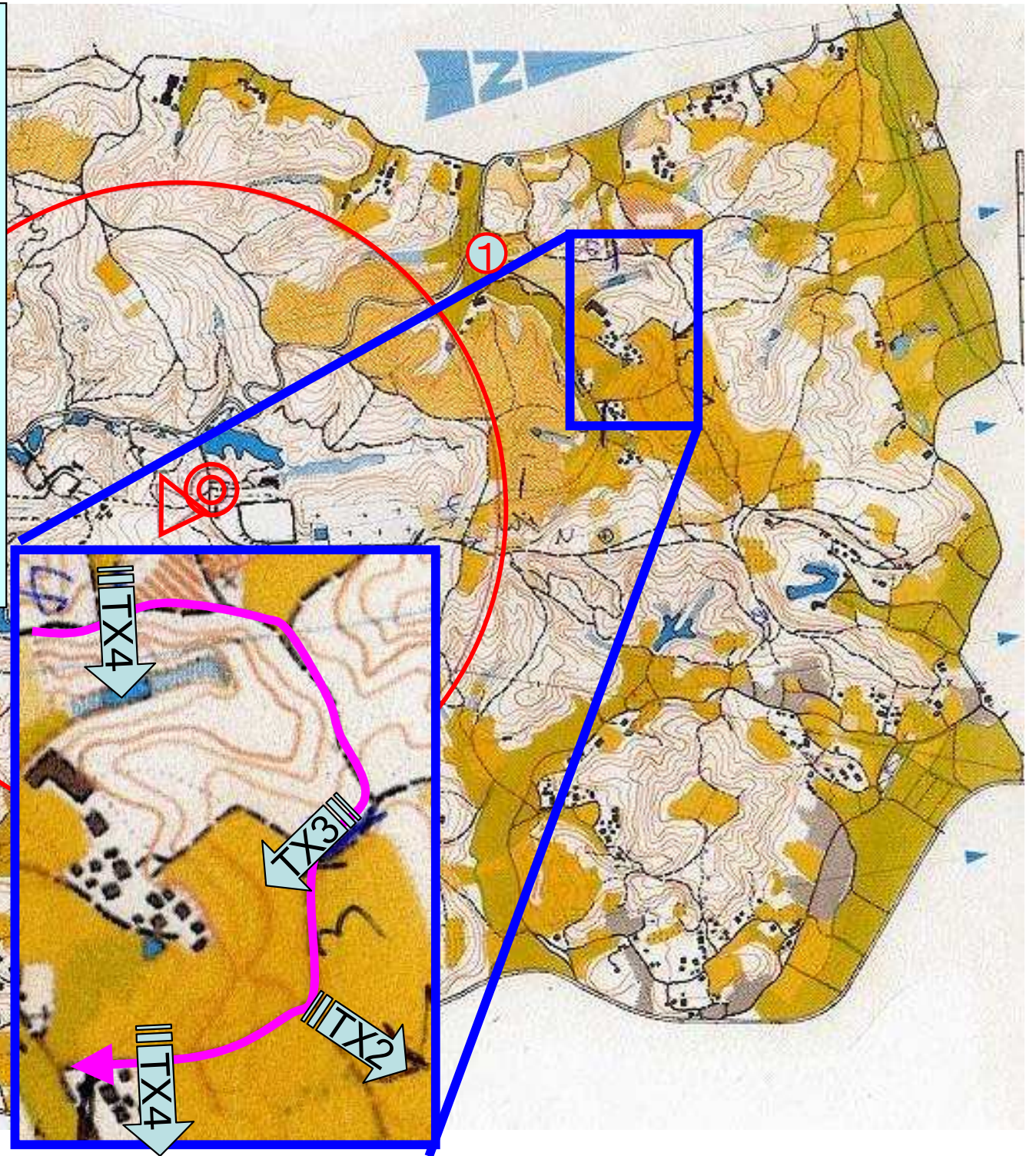
道に出ると、柴田さんが女子高生に個人指導中。柴田さんに実地指導を受けられたら短期上達するだろうなと思っていると、曲がるべきポイントを行き過ぎる。戻るのも癪なので、しかたなく藪コギして山道に出る。



柴田塾

⑦道をロスト

北側にはなさそうなので東方向へ急ぐ。TX4が強いがATTを絞るほどではない。しかし、TX1の例もあり、至近距離の可能性も十分にある。坂を南方向に下るが、思った地図上の位置と道路形状が違う。自分の位置を見失った。自分としてはなかなかない経験で、練習もかねて目隠し状態を楽しむこととした。TX4は西方向。



⑧早川さんと会う

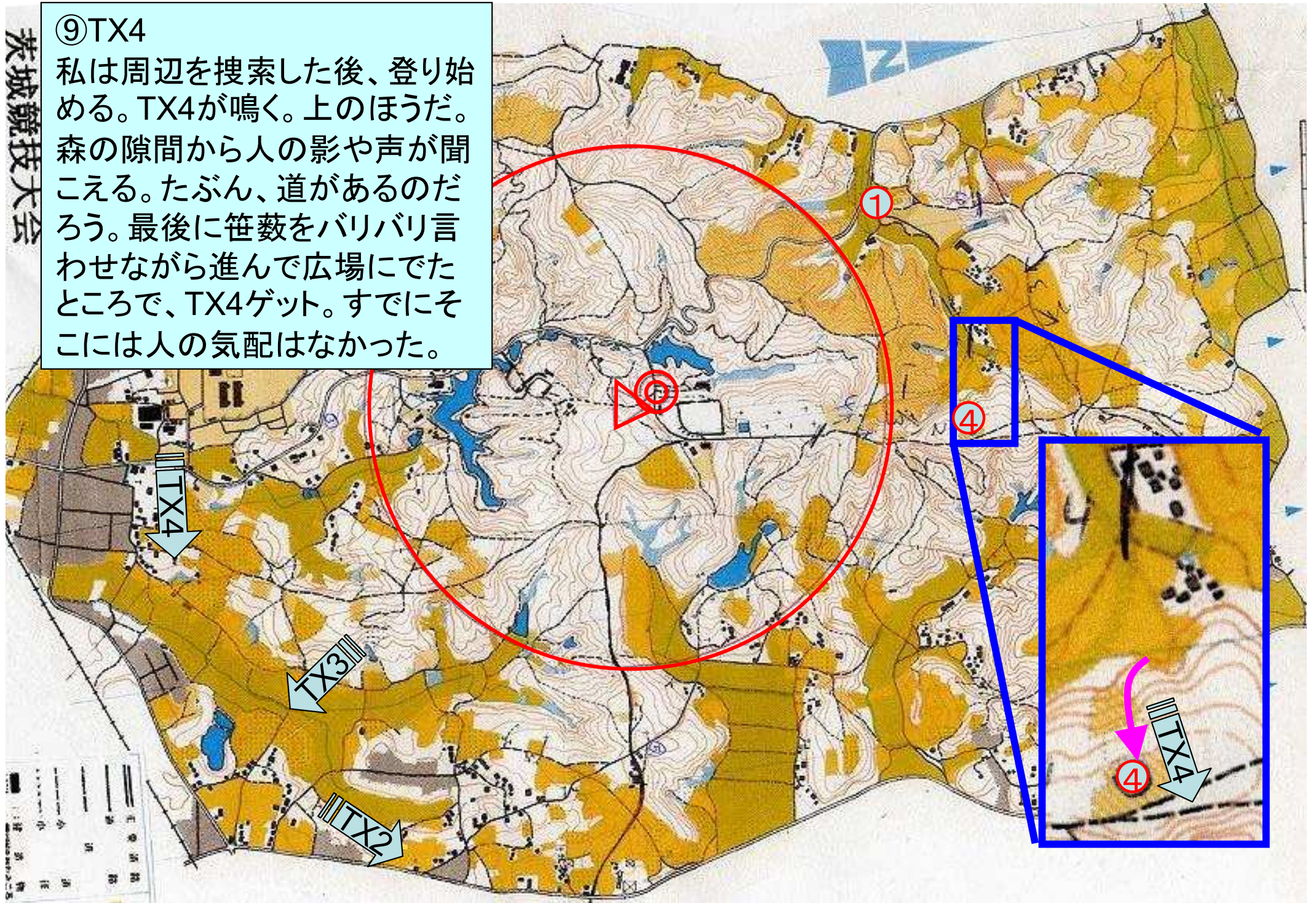
坂を下ったところで早川さん（結果脅威のタイムで5つゲットされた方）と遭遇。早川さんは道を西方向へ、私は北方向の畑を登る。ここで、TX4がまた鳴く。西の藪の中だ。藪に入れそうな場所を探して、藪に突入。しばらく進むと普通の森状態。早川さんが私の前を横切り、森の上のほうに到達している。



早川さんのルート(推測)

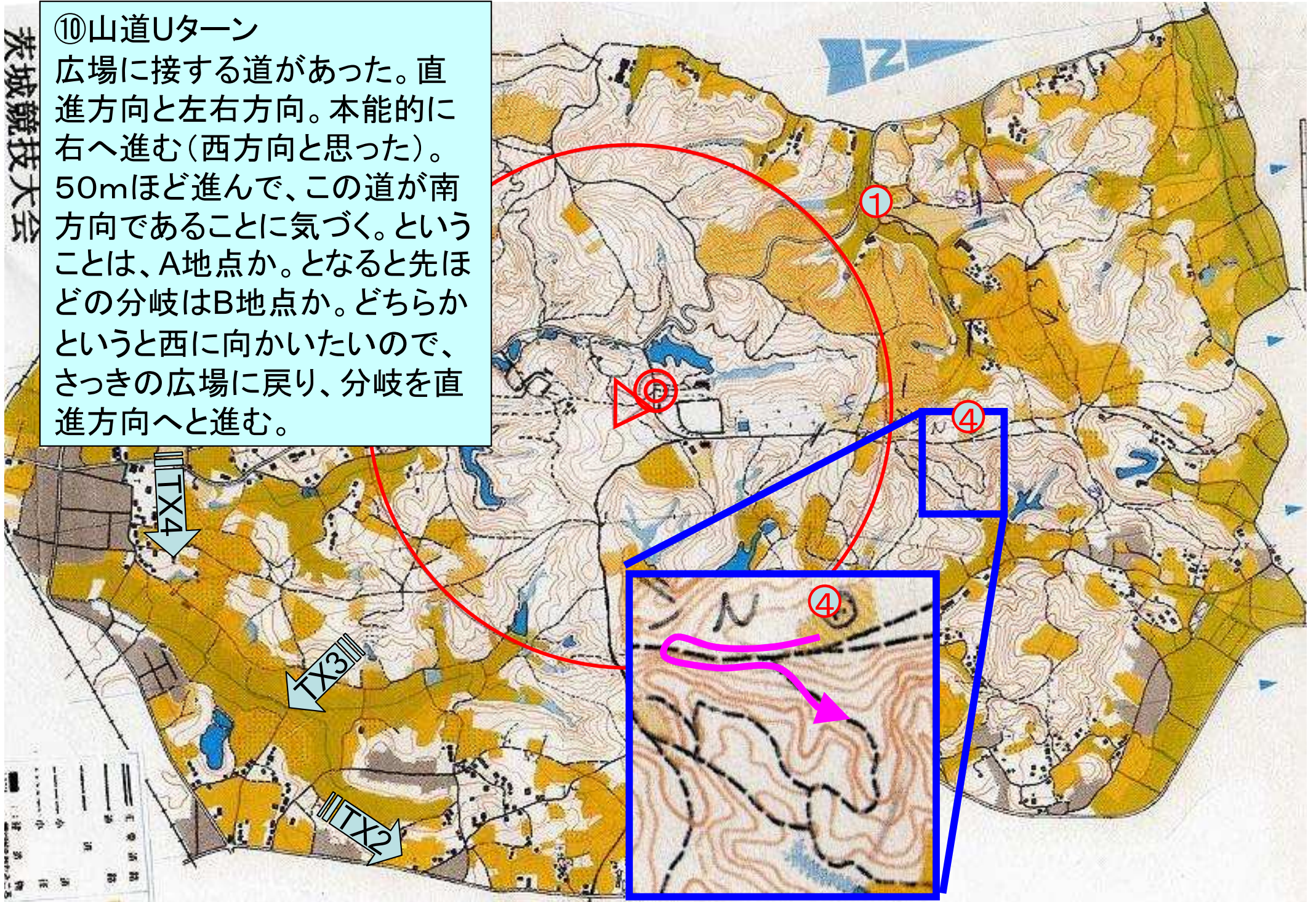
⑨TX4

私は周辺を探索した後、登り始める。TX4が鳴く。上のほうだ。森の隙間から人の影や声が聞こえる。たぶん、道があるのだろう。最後に笹藪をバリバリ言わせながら進んで広場にでたところで、TX4ゲット。すでにそこには人の気配はなかった。



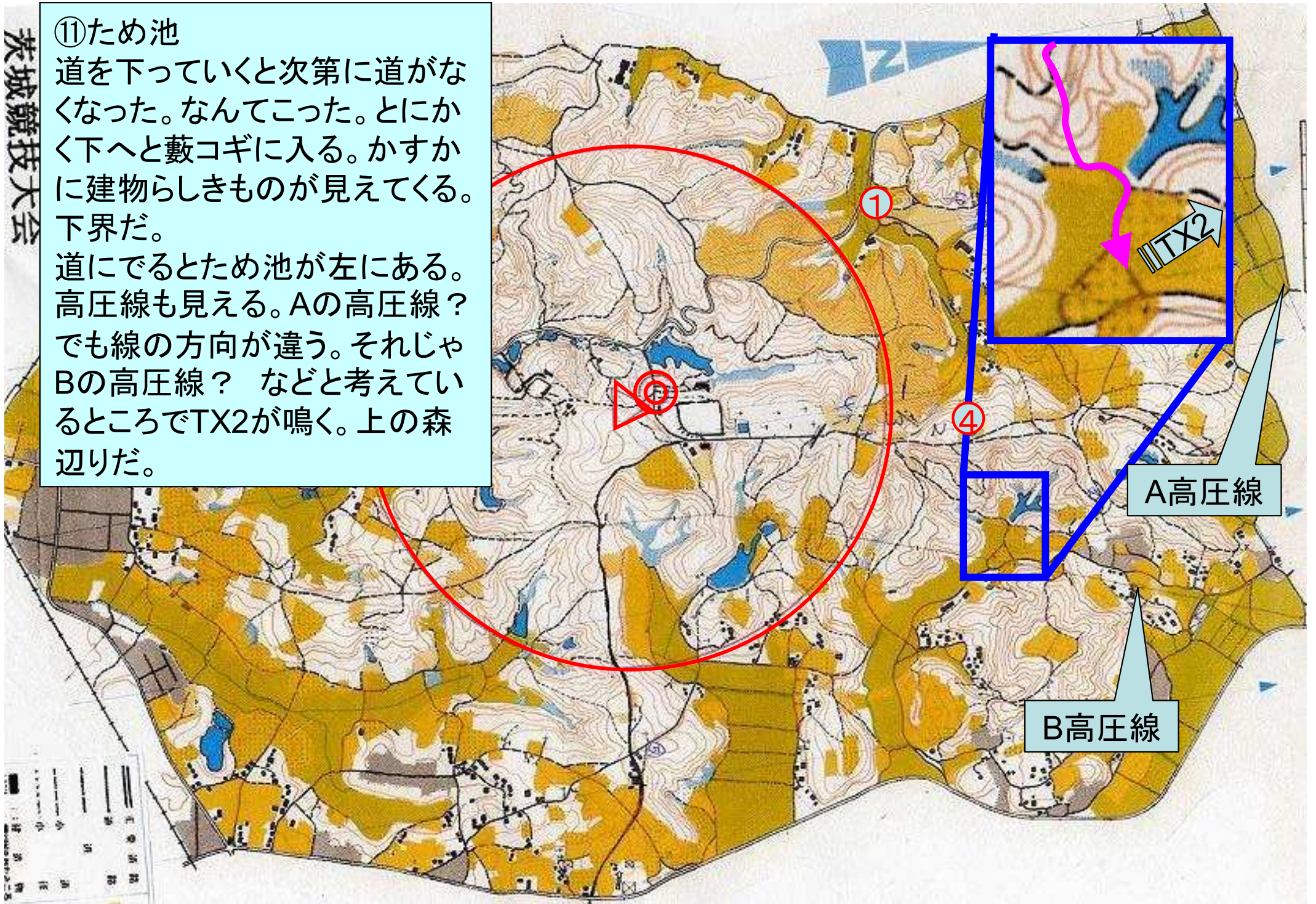
⑩山道Uターン

広場に接する道があった。直進方向と左右方向。本能的に右へ進む(西方向と思った)。50mほど進んで、この道が南方向であることに気づく。ということは、A地点か。となると先ほどの分岐はB地点か。どちらかという西に向かいたいのので、さっきの広場に戻り、分岐を直進方向へと進む。



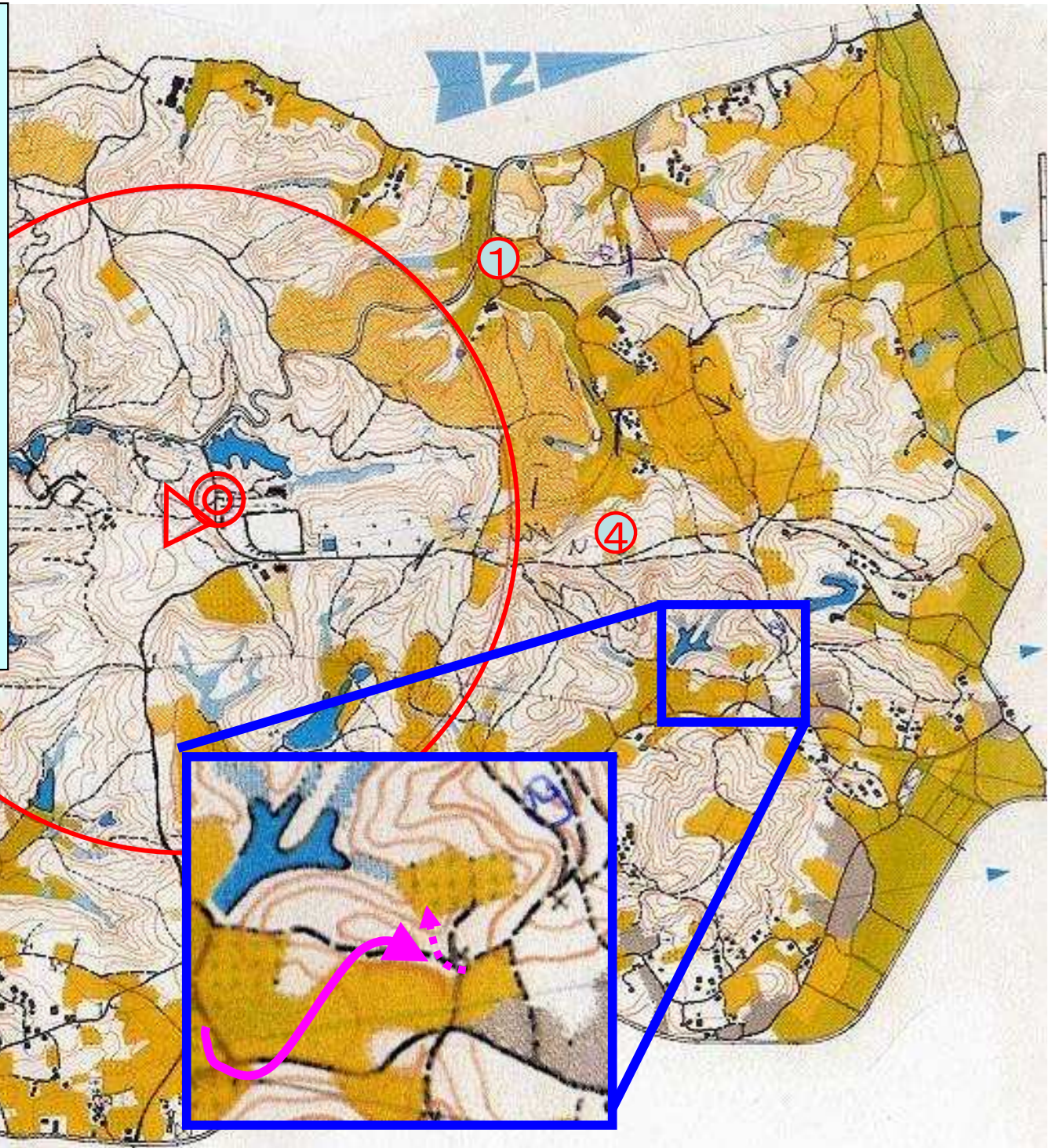
⑪ため池

道を下っていくと次第に道がなくなかった。なんてこった。とにかく下へと藪コギに入る。かすかに建物らしきものが見えてくる。下界だ。道にでるとため池が左にある。高圧線も見える。Aの高圧線？でも線の方が違う。それじゃBの高圧線？などと考えているところでTX2が鳴く。上の森辺りだ。



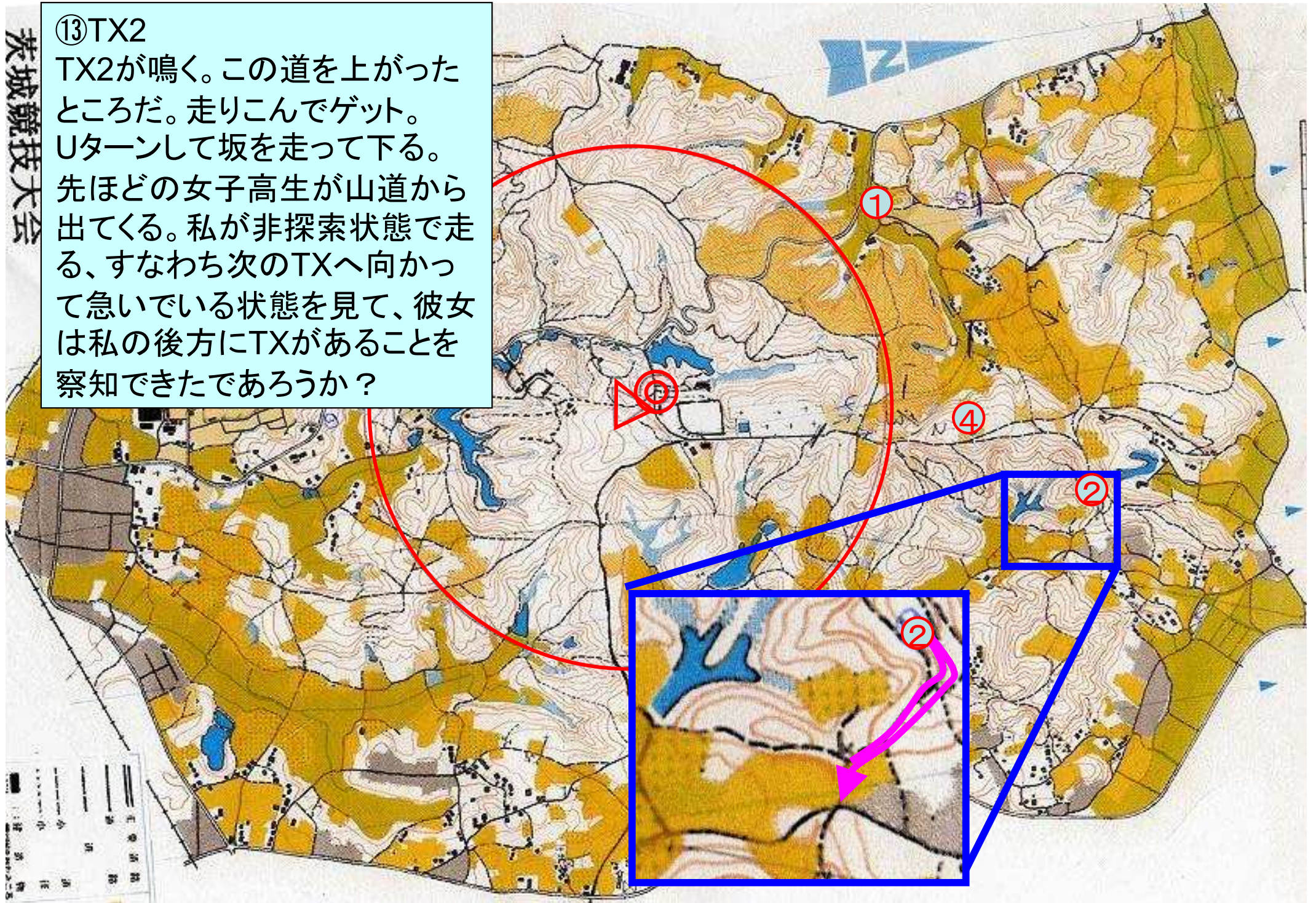
⑫森の女子高生

森を登っていくと、道があった。今度は道に沿って進む。前方に普通の道があり、その道からこの山道に女子高生が入って来る。良くここまで来たなと感心する。彼女はきっと上達する。私とすれ違うのを嫌ったのか、山道脇の林に入り降りていく。「このタイミングでそこに入っ
てはいけないよ」と声をかけなくなる気持ちを抑え、自分は普通道との交差点へ。



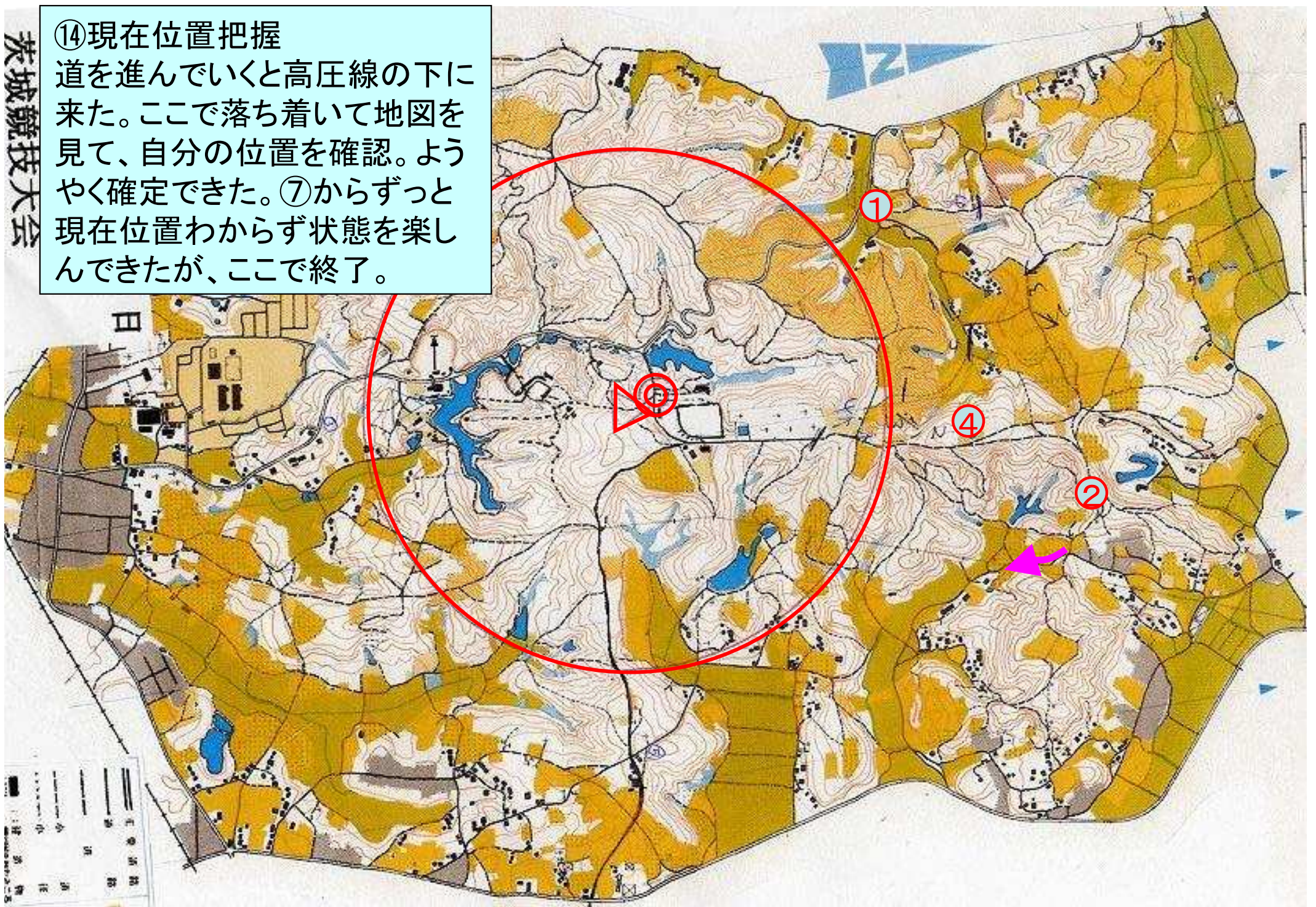
⑬TX2

TX2が鳴く。この道を上がったところだ。走りこんでゲット。Uターンして坂を走って下る。先ほどの女子高生が山道から出てくる。私が非探索状態で走る、すなわち次のTXへ向かって急いでいる状態を見て、彼女は私の後方にTXがあることを察知できたであろうか？

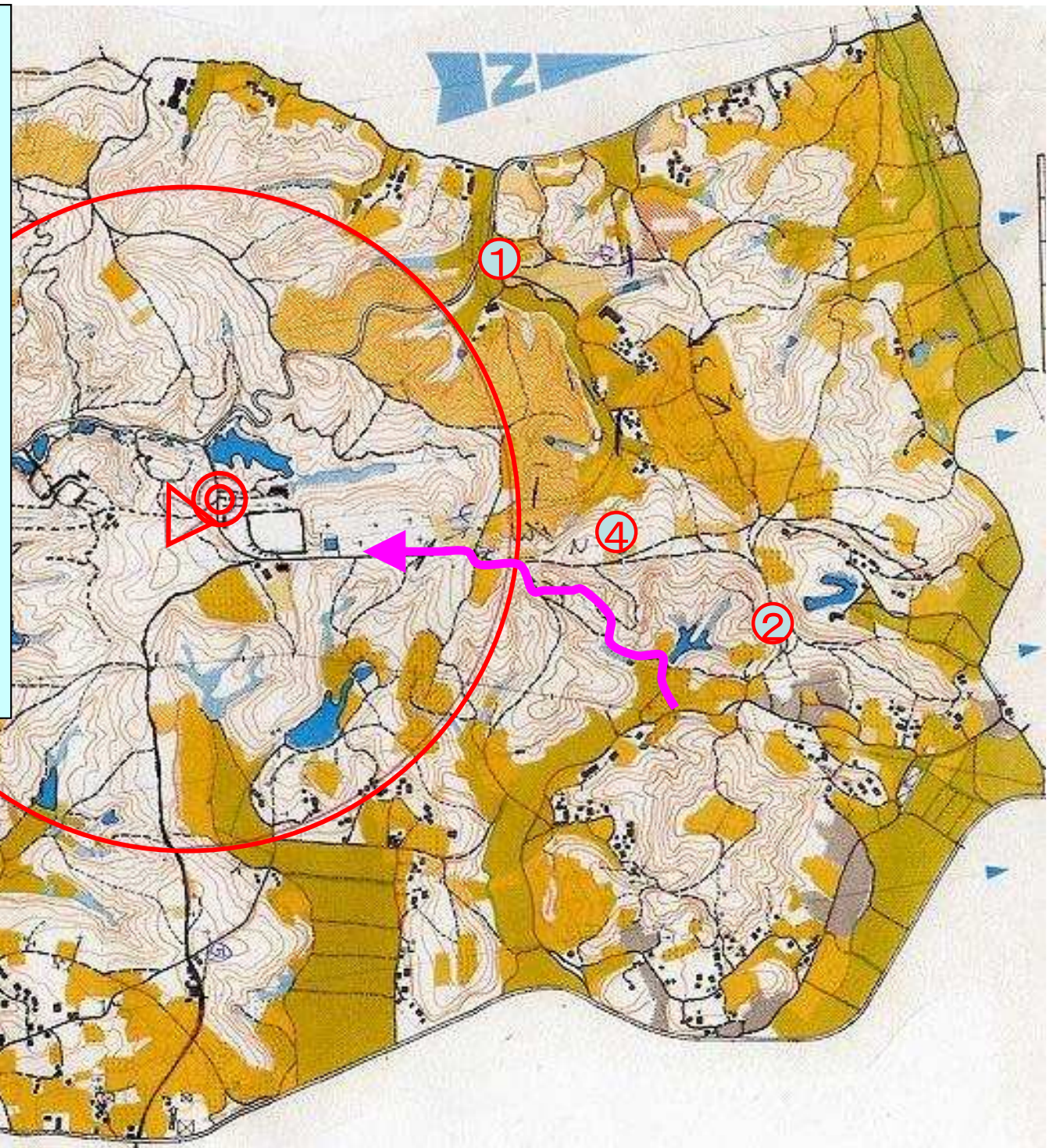


⑭現在位置把握

道を進んでいくと高圧線の下に来た。ここで落ち着いて地図を見て、自分の位置を確認。ようやく確定できた。⑦からずっと現在位置わからず状態を楽しんできたが、ここで終了。



⑮ゴール方面へ
次はTX3。ゴールの反対側だ。
とにかくUターンしてゴールに
向かうことにした。
ため池の横を通り、道を登って
いくが、最後はやぶコギをして、
上の道に出る。この後はゴール
までほぼ直線道路だ。
途中、三村さんと出会う。彼ら
は渋滞で相当遅刻したはずなの
に、完全にONゲーム状態。
さすがに早い。さらに進むと、
柴田塾に再会。丁寧にレク
チャーされている。

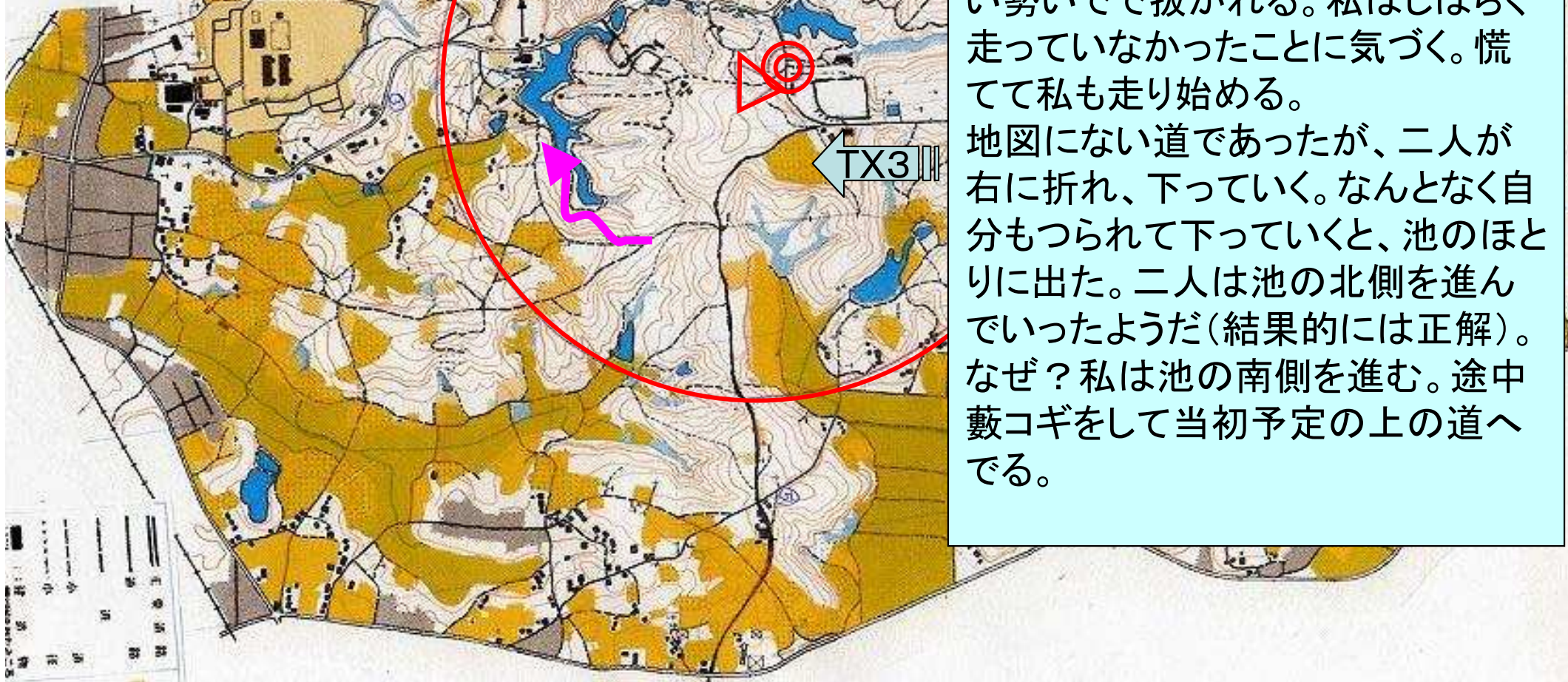


2007年11月23日
第16回 ARDF
茨城競技大会



⑩ゴールするか、TX3へ向かうか
奏功しているうちにここまで来てし
まった。このままゴールするか、
TX3に行くか。時間的にはあと40分
あるが、距離は結構ある。戻って来
られないかもしれない。今日はとこ
とんモードだし、せっかくセッティ
ングしていただいているのだから、や
はりチャレンジしなきゃと、TX3に向
かうことを遅ればせながら決断。
道を交差点まで戻り、TX3に向かっ
ての道を進む。

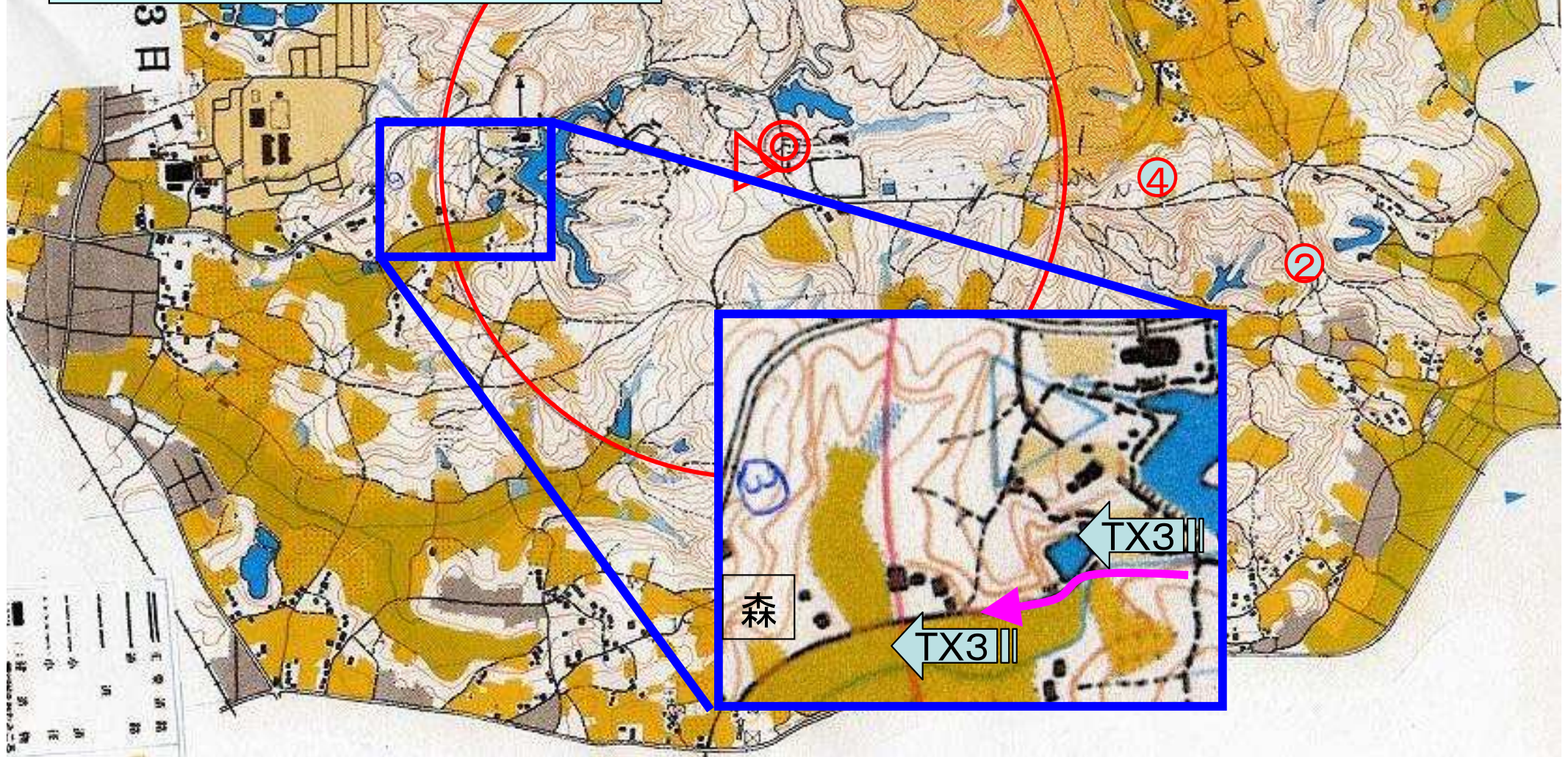
2007年11月23日
第16回 ARDF
茨城競技大会



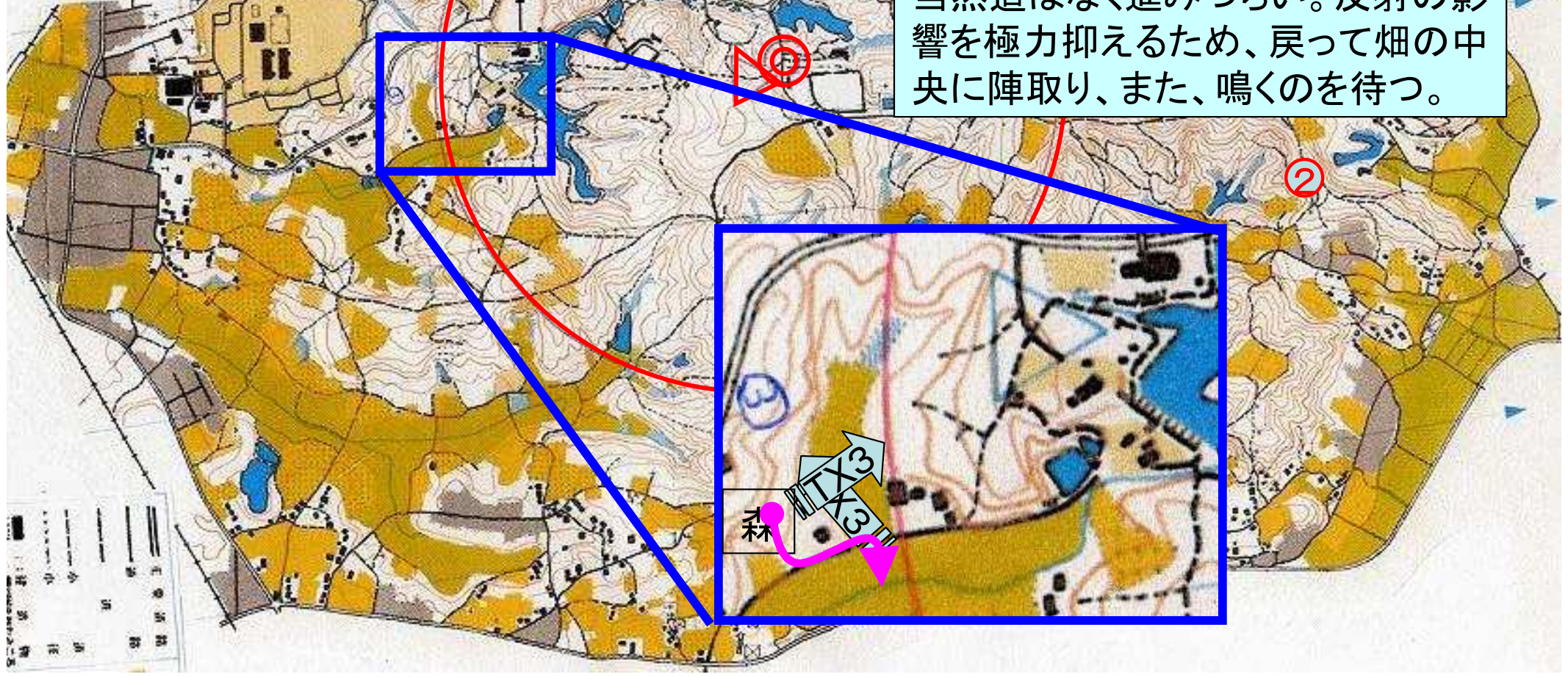
⑰ 走るのを忘れていた
途中高橋さんと丸山さん？にすごい勢いで抜かれる。私はしばらく走っていなかったことに気づく。慌てて私も走り始める。
地図にない道であったが、二人が右に折れ、下っていく。なんとなく自分もつられて下っていくと、池のほとりに出た。二人は池の北側を進んでいったようだ(結果的には正解)。なぜ？私は池の南側を進む。途中藪コギをして当初予定の上の道へでる。

⑱池の南側

TX3が鳴く。南側(下のほう)だ。まだ750m円内であり、迷いもせず、下っていく。平野部に出た。TX3が鳴く。方向としてはあの山の森方面だ。



2007年11月23日
第16回 ARDF
茨城競技大会

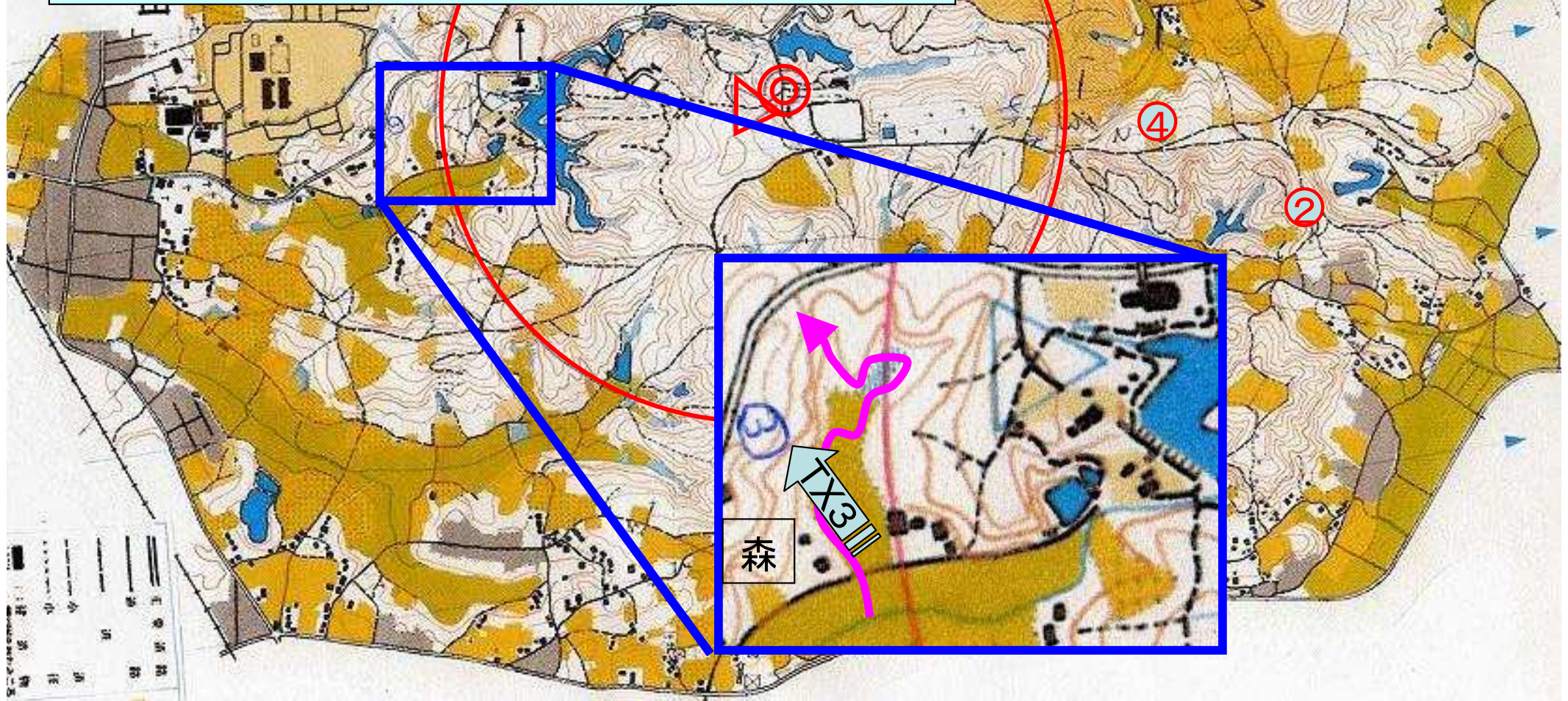


⑱小山の上
山に登り、そこでTX3が鳴く。北方向？750m円内方向の山ではないか。そんな馬鹿な。これは反射と予想。慌てて道に降りてみると西の谷戸方向。完全に反射領域に入っている。少し谷戸方向に進んでみるが、当然道はなく進みづらい。反射の影響を極力抑えるため、戻って畑の中央に陣取り、また、鳴くのを待つ。

TX3
TX3
森

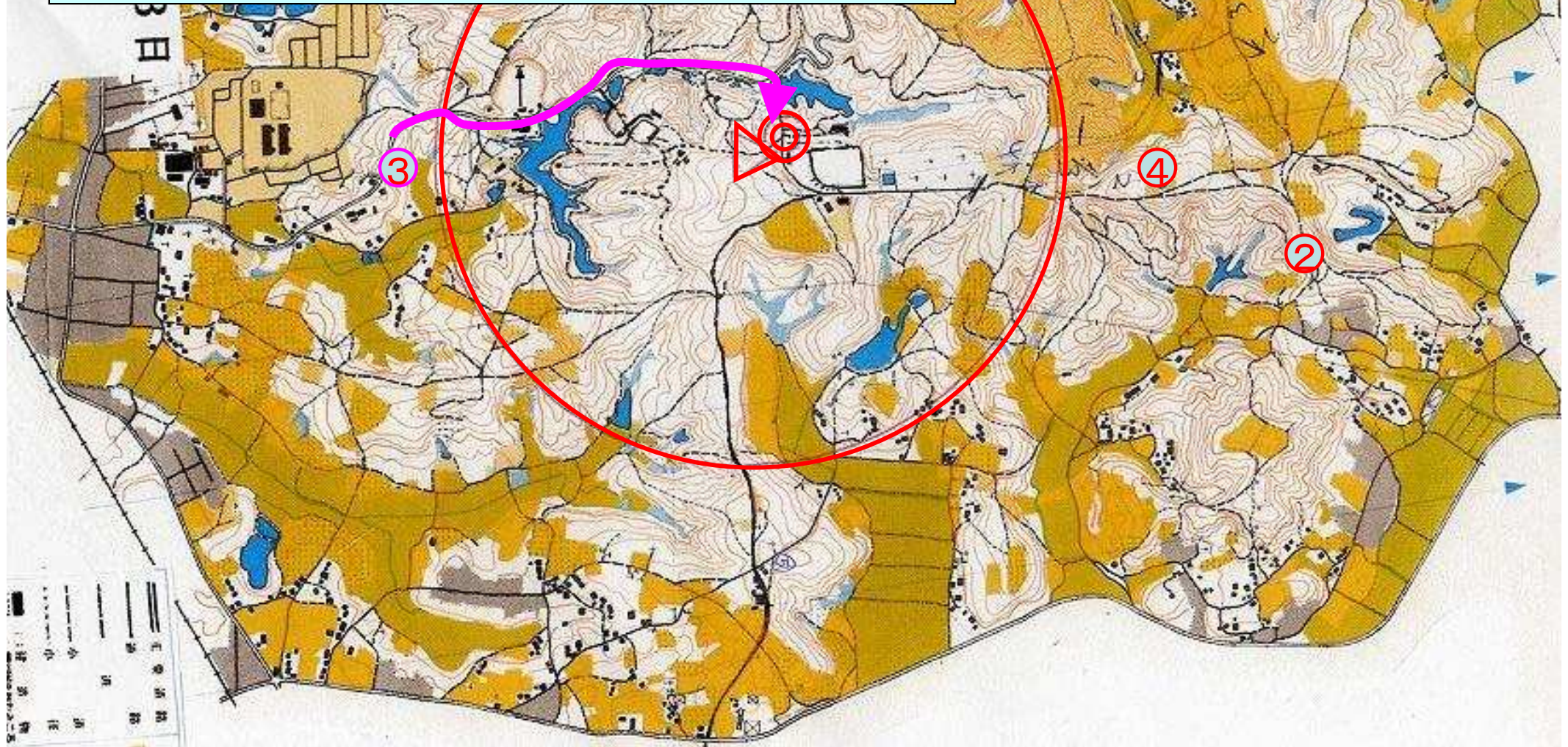
⑳畑の中

やっぱり谷戸方向だ。意を決して谷戸に入る。底なし沼のような湿地帯に足を取られながら、林に入る。藪コギしていくとせせらぎがあり、わたるのに苦労する。なんとかわたるが先に進めない、掻き分けて進めそうな場所を探しながらジグザグに進んでいくと車の走行音が聞こえてくる。道路が近いことがわかるが、この数mを進むのになんと時間がかかることか。

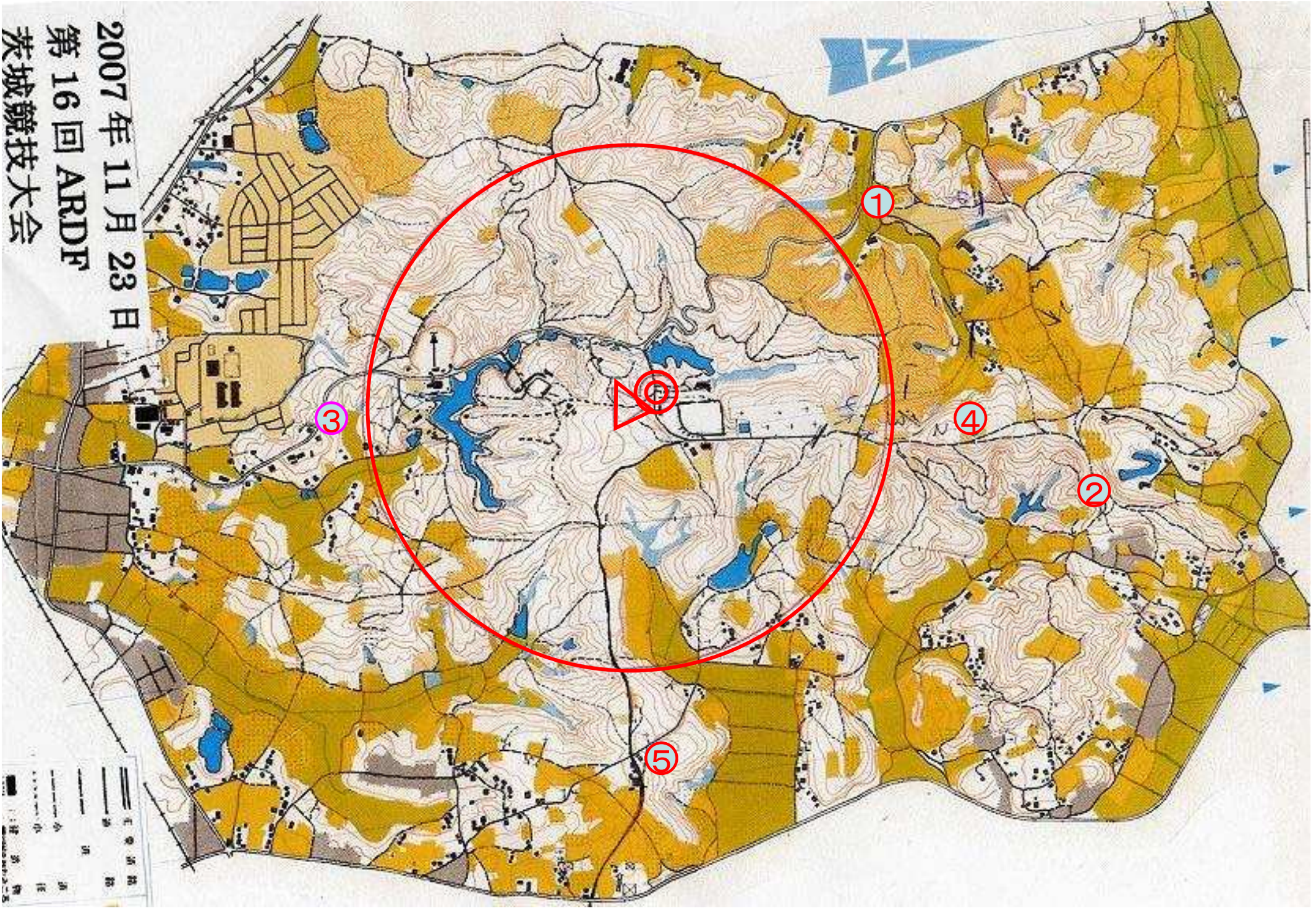


(22)ゴール

ゴールを目指して走る。間に合うか間に合わないかぎりぎりの時間なので、走らざるを得ない。時々時計を見るが、まだ可能性は残っている。それを恨めしく思いながらひたすら坂を上った。足ではなく股関節が痛くなった。これは万事休す。そこからは完全に歩き。2分オーバでゴール。



2007年11月23日
第16回 ARDF
茨城競技大会



◇反省

あとから考えてみると、TXはみな道路わき。道路を進んでいてたまたま目視で見つけるTXは興ざめだが、逆にそれを不要な藪コギをしたり遠回りしてゲットした場合は、「この道を行けばすぐだったのに」という設定者の微笑みが目に浮かび、「やられた」という悔しさとともに、「次はスムーズに」という意欲がわいてくる。

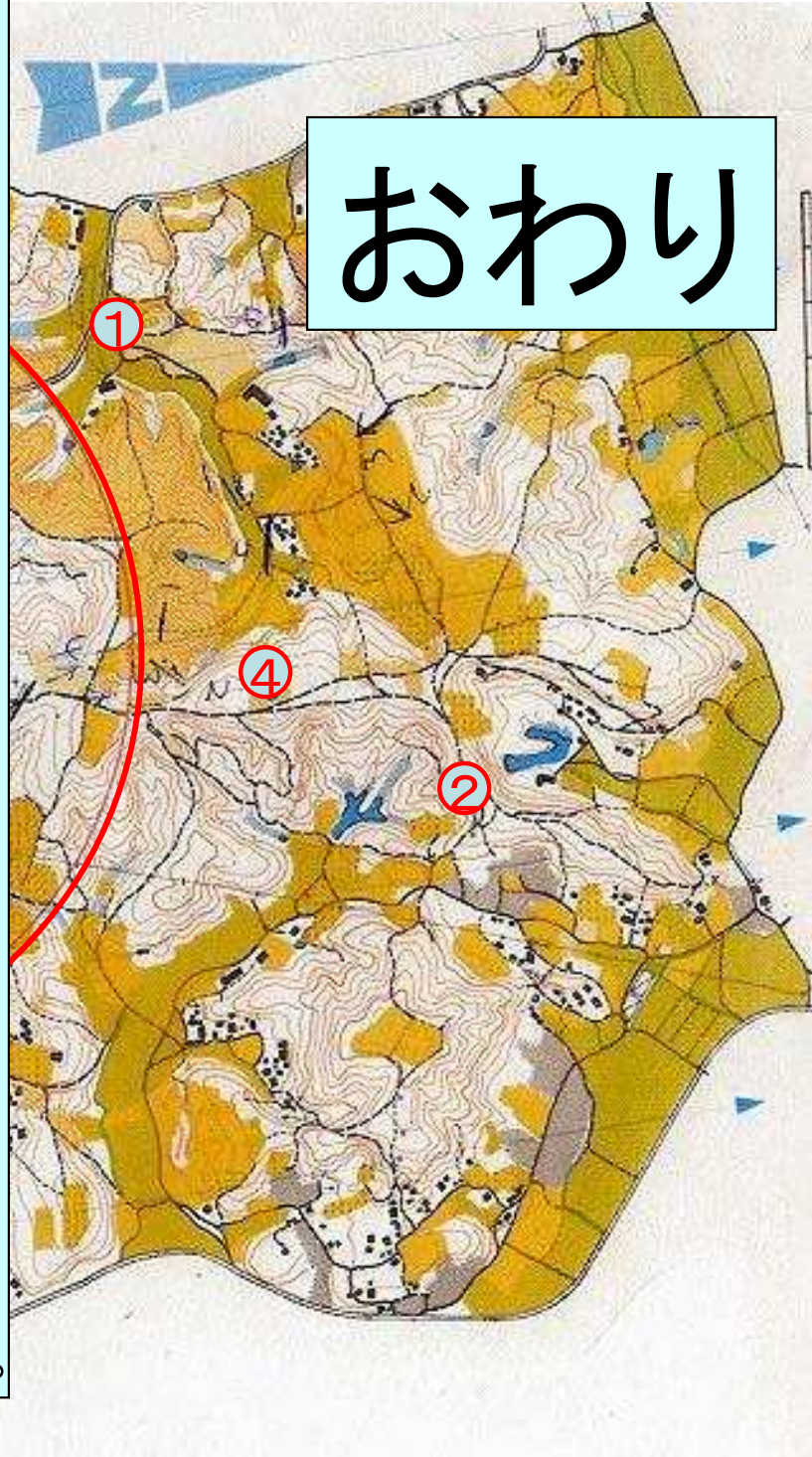
この大会の設定は、藪コギなしで、道を最短コースで行けば、相当短時間で回れる設定だった。TXも隠しているという状態ではほとんどなく、その場所付近に行けば目視で見つけられるという設置であった。

それにも関わらず、遠回りや藪コギをしてしまった自分の未熟さを反省するとともに、設定のうまさを堪能した大会であった。

実際、私は、今まで参加した大会の中で、一番藪コギ(しかも無用な)をしてしまった大会で、設定者に完敗であった。

また、今回はとことん走るモードであったため、方探頻度の低下、方探精度の低下、記録のさぼり、判断遅延、Uターン、遠回りが目立った。

さらに、強度と距離の関係がつかめなかった(全行程でATT不使用・常時最大感度状態)ことも敗因であった。



おわり